

「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちた ふるさと勝山」を目指して

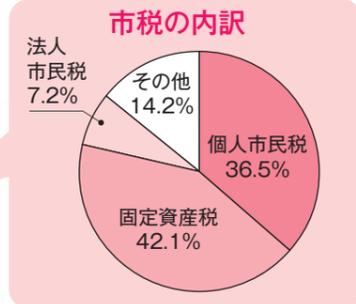
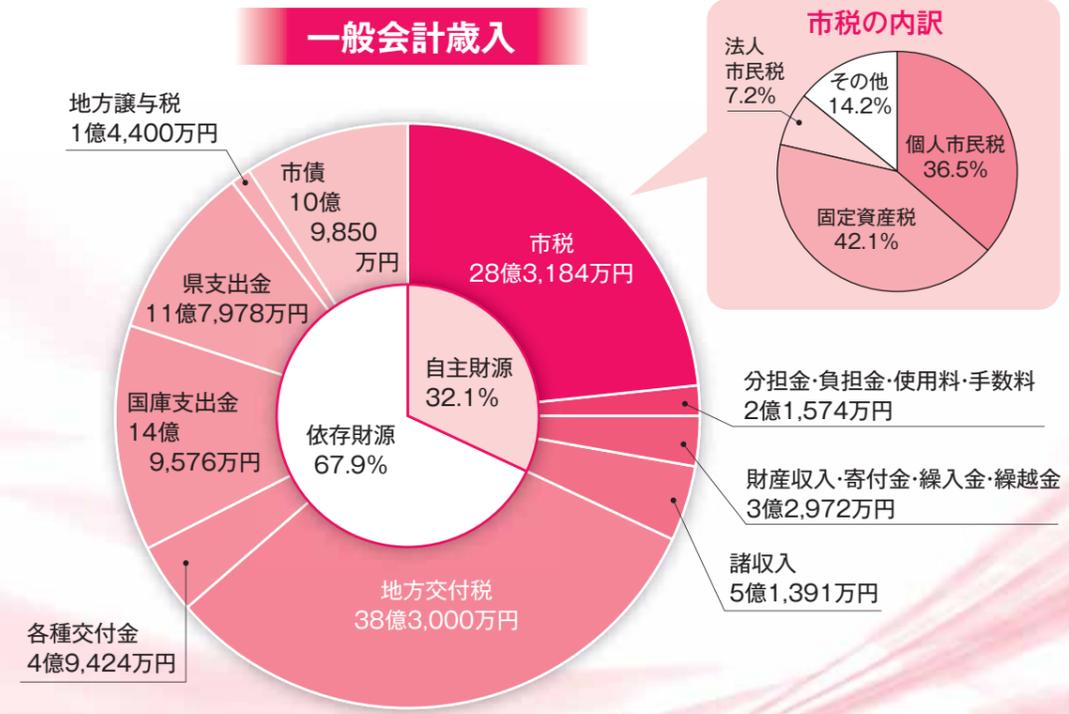
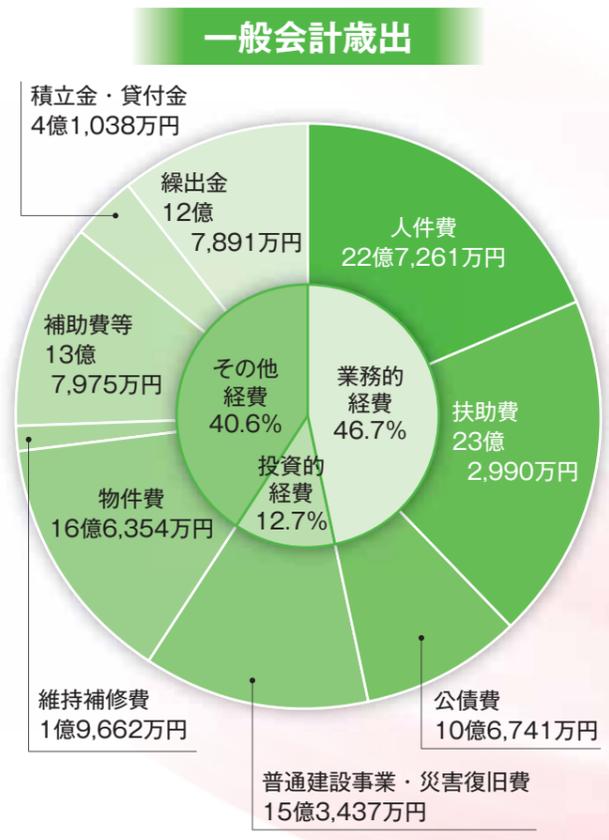
平成30年度 勝山市の当初予算

特別会計

特別会計名	予算額	増減比 (%)
育英資金会計	4,730万円	0.6
下水道事業会計	7億5,670万円	-20.1
農業集落排水事業会計	1億6,865万円	9.7
簡易水道事業会計	—	皆減
国民健康保険会計	24億2,117万円	-20.5
後期高齢者医療会計	3億2,986万円	8.0
介護保険会計	27億4,758万円	-1.8
介護保険会計介護サービス事業勘定	980万円	-4.9
市有林造成事業会計	8,128万円	13.1

企業会計

企業会計名	予算額	増減比 (%)
水道事業会計	7億5,895万円	-11.7



歳出

人件費
英語教育充実を図るため、外国語指導助手2人を新たに雇用しますが、職員数が前年度比14人減(再任用職員除く)となることから、人件費全体では、前年度比約2千9百万円減額の約22億7千3百万円となりました。

扶助費
私立保育園運営委託料(認定子ども園給付費含む)が保育士処遇改善による公定価格の増額などにより、前年度比約3千9百万円増額の約23億3千万円となりました。

普通建設事業費
補助対象事業は各種社会資本整備総合交付金事業、道の駅建設事業などにより増額、市単独事業は海洋センター改修工事、ホワイトザウルス再整備工事などが減額となり、普通建設事業費全体では、前年度比約7千9百万円減額の約15億3千3百万円となりました。

普通建設事業費
補助対象事業は各種社会資本整備総合交付金事業、道の駅建設事業などにより増額、市単独事業は海洋センター改修工事、ホワイトザウルス再整備工事などが減額となり、普通建設事業費全体では、前年度比約7千9百万円減額の約15億3千3百万円となりました。

歳入

市税
市民税は、個人市民税が前年度に比べ若干の増額、法人市民税が前年度決算推計から減額の見込みとなり、前年度とほぼ同額を見込みました。固定資産税は、大手企業などの設備投資増加に伴い償却資産分が増額、評価替により家屋分が減額の見込みとなり、前年度より減額の見込みです。

物件費
嘱託・臨時職員の賃金は、人事院勧告および最低賃金の引き上げにより、増額となりました。

物件費
委託料は、福井しあわせ元気団体の運営にかかる業務、U・イターン施策として取り組むふるさと勝山回帰事業および映像作成事業、ふるさと納税拡充に伴う業務委託などにより大幅な増額となりました。

補助費等
勝山市観光まちづくり株式会社への補助金、地域農業確立に向けた集積協力金などが減額となりましたが、ふるさと納税拡充に伴う返礼品、特色ある地域づくりを目指す地域力向上事業補助金などが増額となり、前年度比約2千1百万円増額の約13億8千万円となりました。

補助費等
勝山市観光まちづくり株式会社への補助金、地域農業確立に向けた集積協力金などが減額となりましたが、ふるさと納税拡充に伴う返礼品、特色ある地域づくりを目指す地域力向上事業補助金などが増額となり、前年度比約2千1百万円増額の約13億8千万円となりました。

繰入金
福井しあわせ元気気団・大会開催、道の駅建設などで大幅に増額となりましたが、人件費、公債費の減額に加え、国の財政措置の確保に努め、繰入金全体では前年度比約2億4千2百万円減額の2億504万円となりました。

繰入金
福井しあわせ元気気団・大会開催、道の駅建設などで大幅に増額となりましたが、人件費、公債費の減額に加え、国の財政措置の確保に努め、繰入金全体では前年度比約2億4千2百万円減額の2億504万円となりました。

地方交付税
国の計画では、地方交付税の総額は20兆円と前年度から4千億円の減額となつています。

当市の地方交付税は、国の算定基準の変更などによる普通交付税の大幅な減額、特別交付税の減額を見込み、前年度比約8千5百万円減額の約38億3千万円を見込みました。

地方交付税
国の計画では、地方交付税の総額は20兆円と前年度から4千億円の減額となつています。

当市の地方交付税は、国の算定基準の変更などによる普通交付税の大幅な減額、特別交付税の減額を見込み、前年度比約8千5百万円減額の約38億3千万円を見込みました。